

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年8月18日(2005.8.18)

【公開番号】特開2003-61687(P2003-61687A)

【公開日】平成15年3月4日(2003.3.4)

【出願番号】特願2002-151981(P2002-151981)

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N 15/09

C 1 2 N 1/21

C 1 2 P 13/08

C 1 2 P 13/10

//(C 1 2 N 1/21

C 1 2 R 1:01)

(C 1 2 P 13/08

C 1 2 R 1:01)

(C 1 2 P 13/10

C 1 2 R 1:01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 1/21

C 1 2 P 13/08 A

C 1 2 P 13/10 B

C 1 2 N 1/21

C 1 2 R 1:01

C 1 2 P 13/08 A

C 1 2 R 1:01

C 1 2 P 13/10 B

C 1 2 R 1:01

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月31日(2005.1.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

RSFD80に含まれている変異型dapAは野生型dapAの塩基配列において塩基番号623のCがTに変化した配列を有し、それによって、コードされる変異型DDPSは118位のヒスチジン残基がチロシン残基に置換された配列を有する。また、RSFD80に含まれている変異型lysCは野生型lysCの塩基配列において塩基番号1638のCがT変化した配列を有し、それによって、コードされる変異型AKIIIは352位のスレオニン残基がイソロイシン残基に置換された配列を有する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0083

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0083】

dapA^{*} 遺伝子断片は、同遺伝子を含む公知のプラスミドRSFD80(WO 95/16042号参照)を鋳型として、配列番号3および4に示すプライマーを用いたPCR法(変性94℃-20秒、アニーリング55℃-30秒、伸長反応72℃-60秒)により増幅した。PCR反応には、Pyrobest DNA polymerase(宝酒造社製)を使用した。得られたdapA^{*}断片をPCRprep(Promega社製)にて精製した後、制限酵素Sse8387IおよびXbaIで消化した。フェノール・クロロホルム溶液を加えて混合し、反応を停止させた。反応液を遠心分離した後、上層を回収し、エタノール沈殿にてDNAを回収し、0.8%アガロースゲルで分離後、約0.1kbpのDNA断片を回収した。